

交流人口拡大

そうま維新
荒秀一議員



問 観光行政の体制強化についてを問う。

答 観光情報の提供やイベント実施に際し、関係団体と連携を図りながら取り組んでいる。

これからの相馬市が復興の勢いをつけるためには、交流人口拡大対策が重要かつ横断的な課題である。

相馬市には中村城をはじめとする史跡、光陽地区の大型スポーツ施設、松川浦周辺や山などの自然といった魅力的な場所がたくさんあり、農林漁業なども体験型、滞在型観光産業として考えるべきである。

問 観光行政の体制強化について問う。

答 相馬観光復興御案内処を設置、さらに千客万来館をオープンし、市観光協会と連携して、ワン

交流人口の推移については、光陽及び松川浦パークゴルフ場の市外からの利用者総数

問 交流人口拡大施策と交流人口の推移について問う。

答 松川浦や中村城跡の観光資源の整備、広報紙やホームページ、SNSなどの活用、甲冑の着付けや乗馬体験の体験型観光イベントの開催など、施策を掲げている。

が、平成24年度は約5万4,000人、平成25年度は約6万人、平成26年度は約6万3,000人、平成27年度は約6万9,000人、平成28年度は、本年1月末現在で約4万8,000人である。

ストップサービスにより観光情報を提供している。また、復興視察やイベント実施に当たっては、関係団体と連携を図りながら取り組んでいる。



毎年多くの利用者で賑わう光陽パークゴルフ場

その他の質問
・市民協働を目指す人材の育成

本市の教育行政

問 キャリア教育の現状と今後の方針について問う。

答 職場体験などのキャリア教育を実施しているが、今後は授業の改善を進めていく。

将来社会人として、自立した人を育てる観点からも、学校の学習と社会を関連付けた教育や社会人としての基礎的資質・能力の向上、自然体験や社会体験等の充実、発達に応じた継続性のある指導が学校教育に求められている。

キャリア教育取り組みの現状と今後の方針について問う。

問 キャリア教育の現状と今後の方針について問う。

答 学校教育として、誘致企業及び地元企業と連携した企業見学、職場体験、企業で働く社会人を

招聘した講演会やワークショップ、大学見学を実施している。

今後は、キャリア教育の視点を生かした授業実践事例集を活用して、基礎的、汎用的能力の育成を視点とした授業改善を進めていく。



向陽中学校で開かれたキャリア教育ワークショップ

問 小学校英語教育における今後の方針を問う。

答 現在ALTの増員を



未来そうま
鈴木一弘議員

図りながら、小学校の1年生から6年生まで英語の学習を進めている。また、英語教育推進会議を開催し、授業研究会や外部講師の講義、演習を通して、教員の指導力向上を図っている。

問 防災教育の効果の分析について問う。

答 詳しい検証は行っていないが、震災の経験を踏まえ、内容等に改善を加えて実施し、教育委員会の方針を明確にして指導した結果、児童・生徒及び教職員の防災意識は、震災前に比べ一定の向上は見られたものと考えている。